

ドキュメンタリー上映会&トークイベント

"デカセギ"の子どもたちの今

二つの故郷の間で揺れ動く、

日系ブラジル人の若者たちの

知られざる青春

富山に住むデカセギの子どもたちの
今とこれからについて考える

2012.5.20 SUN 日

時間 13:00～16:45 **入場無料**
(事前登録不要)

会場 高岡市ふれあい福祉センター1F
多目的ホール

ドキュメンタリー映画上映

「孤独なツバメたち～デカセギの子どもに生まれて～」

& ディスカッション



主催／富山大学「東アジア「共生」学創成の学際的融合研究」(CEAKS)、トヤマ・ヤポニカ、アレッセ高岡

リサイクル適性 この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

ドキュメンタリー上映会&トークイベント

"デカセギ"の子どもたちの今

孤独なツバメたち

～デカセギの子どもに生まれて～

(2011年)

監督 / 津村公博、中村真夕
 撮影 / 津村公博、中村真夕、村井隆太、木村伸哉、佐藤アユミ・パウラ
 編集 / 中村真夕
 支援 / 国際交流基金
 配給 / アルゴピクチャーズ

■カラー / 88分 / 日本語、ポルトガル語

〈映画内容〉

二つの故郷の間で揺れ動く、 日系ブラジル人の若者たちの知られざる青春

「日本で将来の夢はない、ブラジルに帰っても外国人あつかいされる…」
 —そんな日系ブラジル人の子供たちが静岡県浜松市にはたくさんいる。彼らは幼い時、「デカセギ」の親とともに日本にやってきた。日本で生まれ育っても、ブラジル国籍のため義務教育が保障されず、多くの子どもたちは中卒か、中学も中退して、工場で働いている。夢があってもそれを叶えるすべを知らず、安定した仕事にもつけない。しかし、彼らは、どんなにつらくても、生き生きとして、底抜けに明るい。2008年秋、突然、おとずれた不況で仕事を失い、ブラジルに帰ることを余儀なくされる。そこには、あきらめきれない夢、引き裂かれた愛、そしてもう一つの故郷でやり直そうという思いがあった…。

「孤独なツバメたち」は、浜松学院大学の津村公博教授と映画監督の中村真夕氏が、浜松そしてブラジルで孤独な渡り鳥のように、自分の居場所を求めて生きようとしている5人の若者たちの2年半を追ったドキュメンタリー。

この映画を入り口にして、富山に住むデカセギの子どもたちの今とこれからについて、一緒に考えませんか？

The Program on May 20

〈2012年5月20日(日) プログラム〉

入場無料
(事前登録不要)

[13:00] …………… 開場

[13:30~15:00] ……………

ドキュメンタリー映画上映

[15:00~15:15] …………… 休憩

[15:15~16:45] ……………

ディスカッション

- ・津村 公博 (浜松学院大学教授)
- ・小倉 利丸 (富山大学教授、CEAKS人間の安全保障チーム代表)
- ・パブロ・ナダヨシ・ロリン (Minority Youth Japan代表)
- ・二瓶 ひろ子 (高岡市役所)
- ・青木 由香 (アレッセ高岡代表)

司会者 / 田上 栄子 (トヤマ・ヤポニカ)

〈会場〉高岡市ふれあい福祉センター1F 多目的ホール

〒933-0935 富山県高岡市博労本町4番1号 TEL.0766-21-7888

◎市内巡回バス コミュニティバス〈こみち〉 ◎JR高岡駅より徒歩20分

■主催 / 富山大学『東アジア「共生」学創成の学際的融合研究』(CEAKS)、トヤマ・ヤポニカ、アレッセ高岡

■お問合せ / トヤマ・ヤポニカ〈田上〉 TEL&FAX.076-423-2737 japonica@fsinet.or.jp
 アレッセ高岡〈青木〉 alece_takaoka@hotmail.co.jp
 富山大学〈小倉〉 ogura@eco.u-toyama.ac.jp

